



絵雑誌の研究

その意義と新たなアプローチ

— 「池田コレクション」、「入江コレクション」を中心に —

絵本学会研究委員会の企画により、標記のテーマで絵本研究会を開催します。講師として、「池田コレクション」(札幌市中央図書館所蔵)を研究対象とした『大正期の絵本・絵雑誌の研究 一少年のコレクションを通して』(翰林書房 2009年)を編集された三宅興子氏と香曾我部秀幸氏、そして、「入江コレクション」(兵庫県立歴史博物館所蔵)担当学芸員である香川雅信氏を迎え、主に大正期を中心にした絵雑誌研究の意義と、新たなアプローチを探ります。

このたびの研究会は、兵庫県立歴史博物館で開催中の、「池田コレクション」と「入江コレクション」、婦人之友社の『子供之友』原画が一堂に会した「描かれた大正モダン・キッズ 婦人之友社『子供之友』原画展」(2016年10月15日～11月27日)と連携する企画です。研究者のみならず学生や一般の方など多くの皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

- ◆ 基調講演「絵雑誌研究の意義と課題」
講師 三宅 興子 氏
- ◆ 絵雑誌にみる印刷技法と絵画表現
講師 香曾我部 秀幸 氏
- ◆ 「入江コレクション」の概要と今後の展開
講師 香川 雅信 氏
- ◆ ディスカッション

◇ 司会進行：松本育子 (刈谷市美術館)

2016.11.6(日)

13:00～16:30

兵庫県立歴史博物館
地下1階ホール

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地

参加無料・申込不要

主催：絵本学会、兵庫県立歴史博物館

企画：絵本学会研究委員会

(本庄美千代 / 松本育子 / みつじまちこ)

問合せ：絵本学会事務局 office@ehongakkai.com

講師



三宅 興子
Okiko MIYAKE

児童文学研究者、絵本研究者。大阪国際児童文学振興財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授。

大阪生まれ。日本イギリス児童文学会会長、絵本学会会長、日本児童文学学会理事などを歴任。2010年～2015年6月まで大阪国際児童文学振興財団理事長を務める。主な著書に、『イギリス児童文学論』（翰林書房1993）、『イギリス絵本論』（翰林書房1994）、『イギリスの絵本の歴史』（岩崎書店1996）、評伝『ロバート・ウェストール』（KTC中央出版2008）などがある。プロジェクト研究に、『大正期の絵本・絵雑誌の研究―少年のコレクションを通して』（翰林書房2009）がある。



香曾我部 秀幸
Hideyuki KOSOKABE

美術史研究者、絵本研究者。梅花女子大学教授。

神戸市生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程中途退学。1997年～2015年、絵本学会企画委員長、理事、事務局長などを歴任。主な著書に、『はじめて学ぶ日本の絵本史Ⅰ～Ⅲ』（共著、ミネルヴァ書房2002）、『大正期の絵本・絵雑誌の研究―少年のコレクションを通して』（共著、翰林書房2009）、『絵本をよむこと―「絵本学」入門』（共著、翰林書房2012）などがある。



香川 雅信
Masanobu KAGAWA

民俗学者。兵庫県立歴史博物館主査・学芸員。

香川県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻（国際日本文化研究センター）にて博士号（学術）を取得。主な著書に、『江戸の妖怪革命』（角川ソフィア文庫2013）、『立体妖怪図鑑』（角川書店2016）、『図説 妖怪画の系譜』（共著、河出書房新社2009）、『妖怪学の基礎知識』（共著、角川選書2011）などがある。

コレクション紹介

●「池田コレクション」（札幌市中央図書館所蔵）

大正期の北海道札幌に在住した一少年、池田慎一郎氏が集めた明治末期から大正期にかけて刊行された絵本・絵雑誌281冊のコレクション。1973年に遺族から札幌市中央図書館に寄贈された。

●「入江コレクション」（兵庫県立歴史博物館所蔵）

大阪府吹田市の故入江正彦氏が収集した児童文化史に関する質・量ともに全国的に有数の一大コレクション。玩具、書籍、印刷物、生活用品、文房具、教育資料、商業資料、絵画、写真など、多岐にわたる総数約11万点の全資料が2003年に兵庫県立歴史博物館に一括寄贈された。



復刻『子供之友』1925年4月号
表紙画 亀高文子

復刻『子供之友』1924年3月号
表紙画 村山知義

アクセス

兵庫県立歴史博物館 地下1階ホール
〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地 TEL 079-288-9011

- ・JR新快速で三宮から約40分、大阪から約60分
- ・山陽電車(特急)で三宮から約65分、梅田から約100分
- ・神姫バス姫路駅前から「姫路医療センター経由系統」で約8分、『姫山公園北・博物館前』で下車
- ・城周辺観光ループバスで約8分、『博物館前』下車
- ・歴史博物館には駐車場はありません。有料駐車場Pをご利用ください。[姫路市営 城の北、姫山、大手門]

